

花みつ

『あら』

みつばちさん

今日はひとりで

ミツあつめ?』

『みんなが風邪をひいて
あつめられないから
しかたがないの』



『そうなんだ...』

みんなの分も

あつめるのたいへんね

じゃあ

わたしたちも

手伝うわ』



『さあ』

みんな変身!』

『えっぼくたちも?』

『そりゃ』

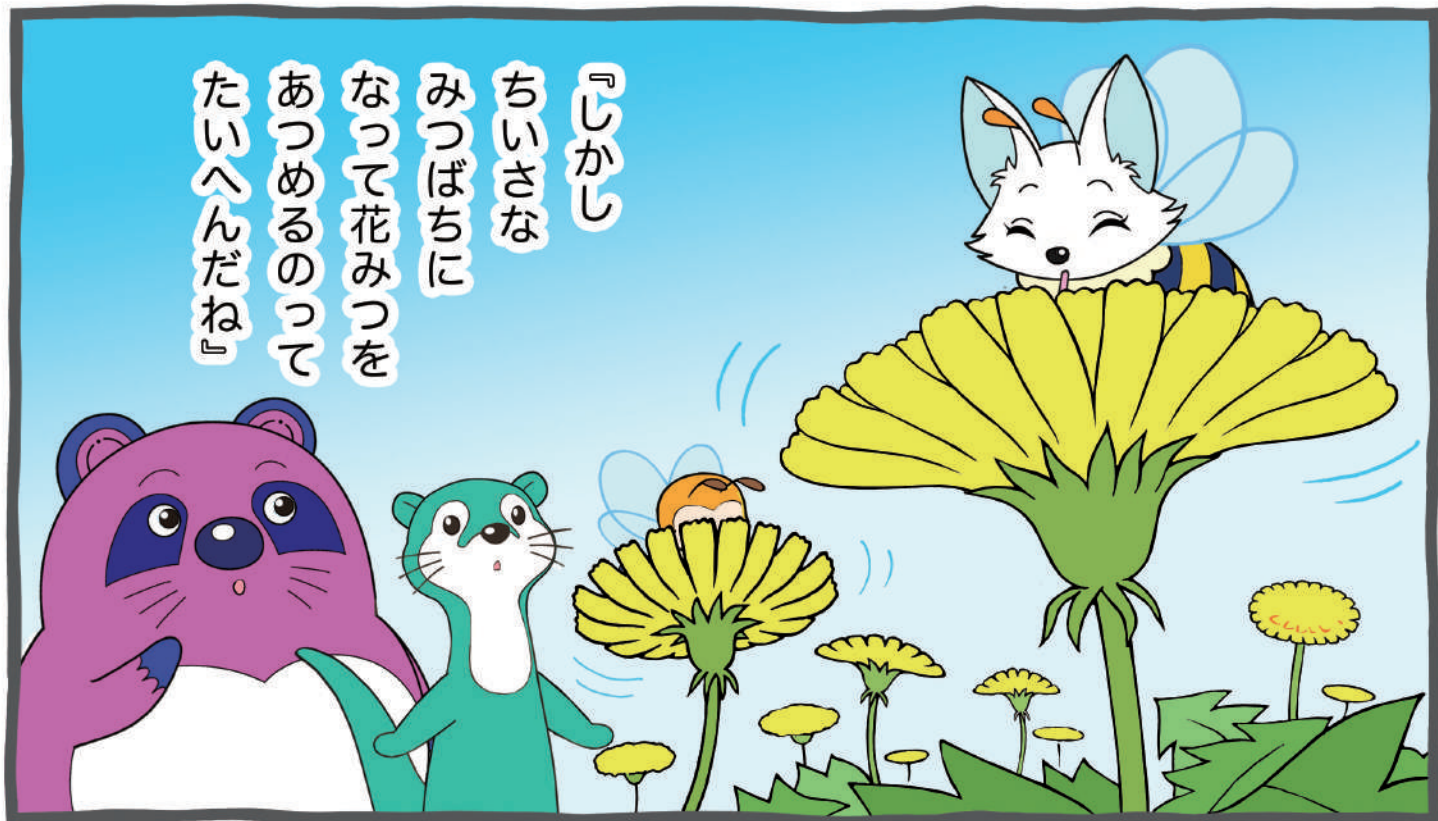
みつばちさんに

ならないと

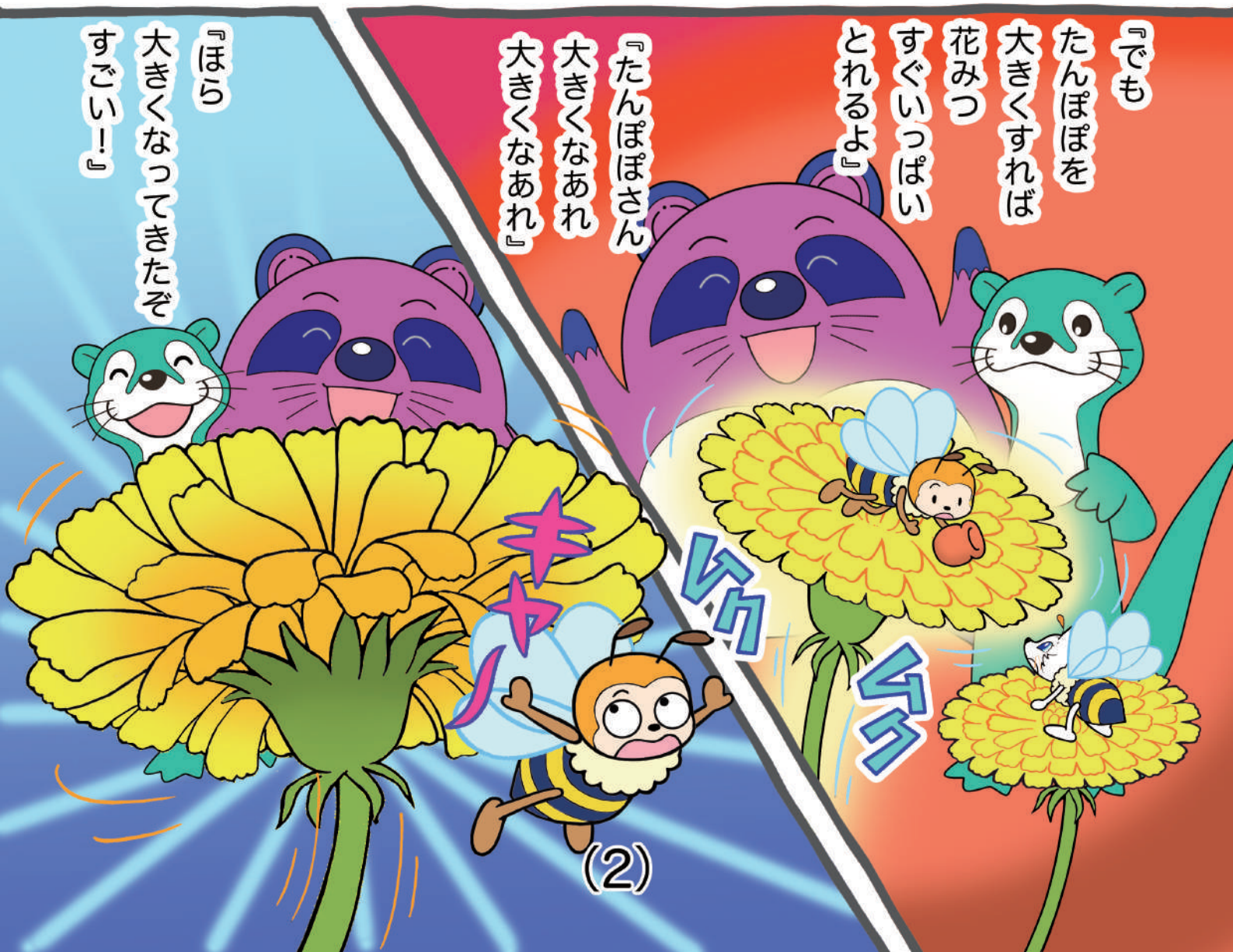
花みつ

あつめられないでしょう』





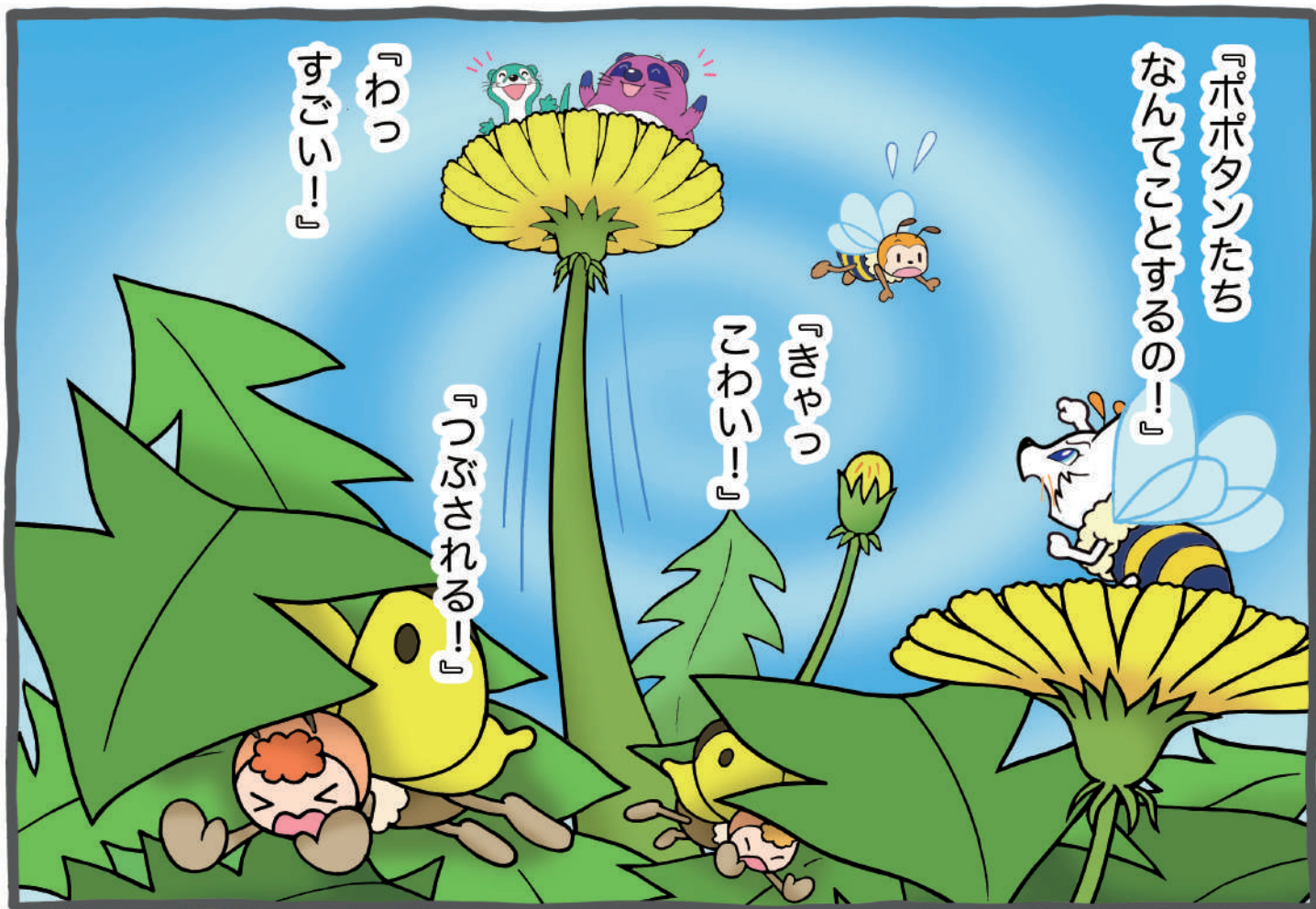
『しかし
ちいさな
みつばちに
なつて花みつを
あつめるのつて
たいへんだね』



『でも
たんぽぽを
大きくすれば
花みつ
すぐいっぱい
とれるよ』

『たんぽぽさん
大きくなあれ
大きくなあれ』

『ほら
大きくなつてきたぞ
すごい!』



『ポポタンたち
なんてことするの!』

『きゃっ
こわい!』

『じぶなれる!』

『わっ
すいっ!』



『あんないたずらして—
ぜったいゆるおない!』



『みつがいっぱい
あふれているよ!』

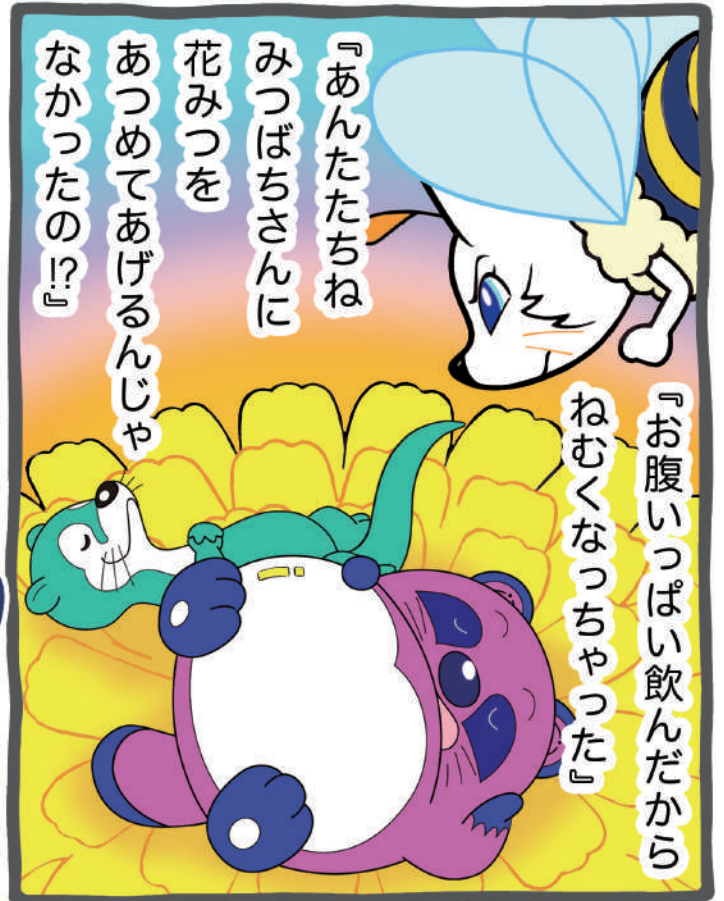
チュ—

チュ—

『お砂糖みたいに
とっても甘いね』



『お花に
いたずらするものは
お花の妖精の
おしおきがあるのよ!』

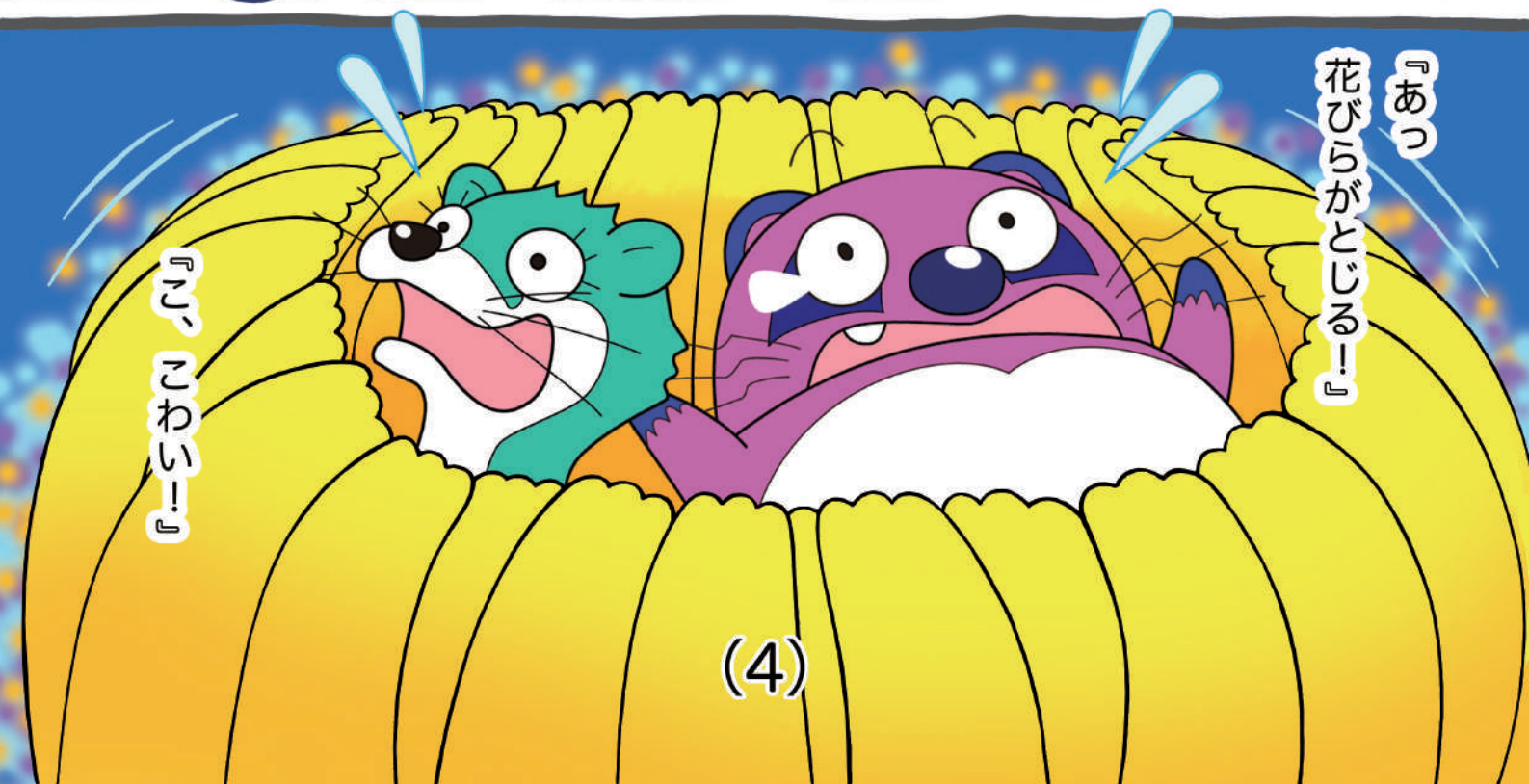


『あんなたちね
みつばちさんに
花みつを
あつめてあげるんじゃ
なかったの!』

『お腹いっぱい飲んだから
ねむくなっちゃった』

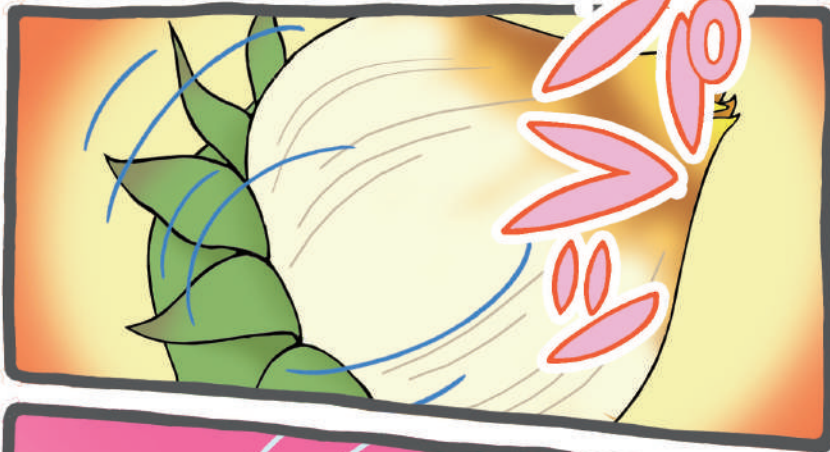


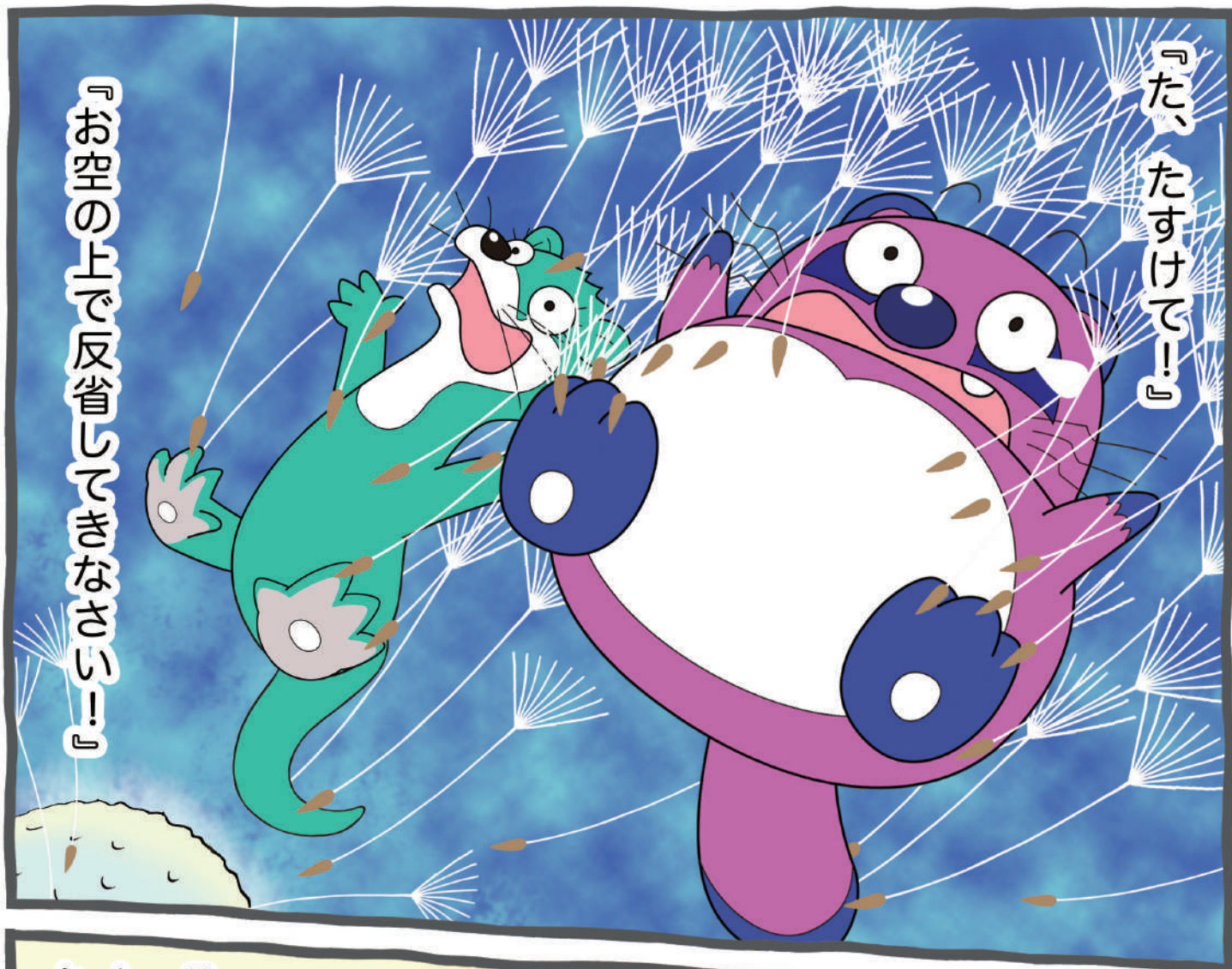
『ごらしめて
あげるわ!』



『あっ
花びらがとじる!』

『ん、こわい!』







『きりらちゃん
お手伝いしてくれて
ほんとうにありがとう』



『少しだけど
ハチミツのお礼よ』
『ありがとうございます
うれしいわ!』



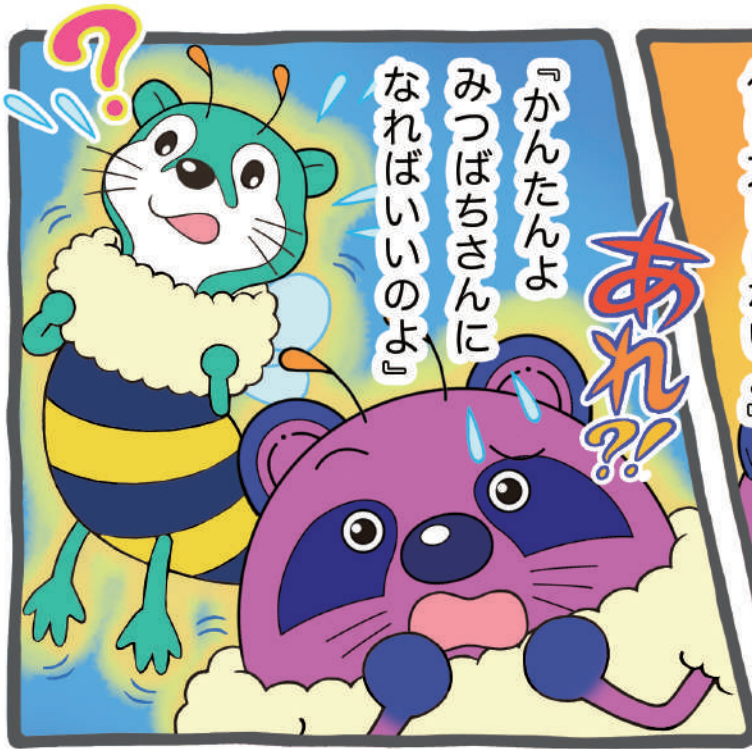
『ポポタンたち
今ごろどこに
いるのかな
心配に
なってきたよ』



『綿毛のおかげで
向こうのお花畑で
花みつ
いっぱい
取ってきたよ』

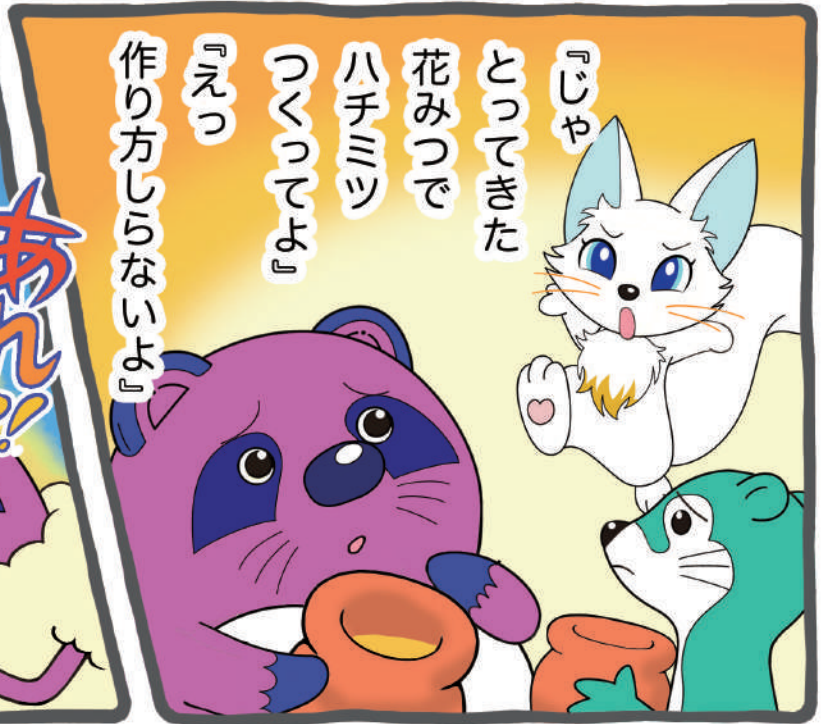
『空中さんぽ
とっても
楽しかったね』

『心配して
そんな
しちゃった!』



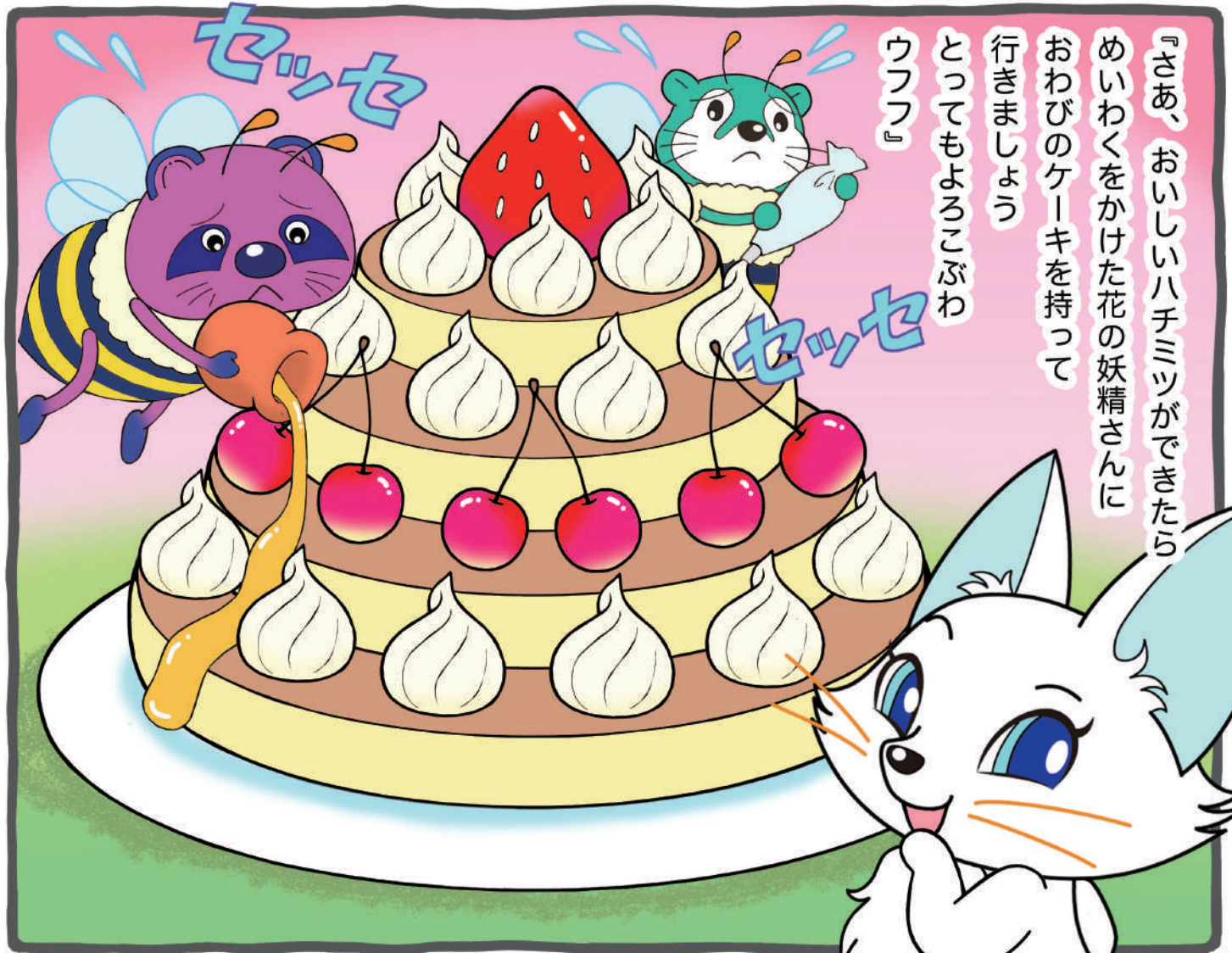
『かんたんよ
みつばちさんに
なればいいのよ』

あれ?!



『じゃ
とってきた
花みつで
ハチミツ
つくってよ』

『えっ
作り方知らないよ』



セッセ

『さあ、おいしいハチミツができたら
めいわくをかけた花の妖精さん
におわびのケーキを持って
行きましょう
とってもよろこぶわ
ウフフ』

セッセ